

八郎瀉

水を渡り また水を渡り
行き行き重ねて行き行く
彼方 草枯れし寒風山 山ひれふして
空の暗きに ぬれ羽うち
帰の鳥の羽うつとはいへ 帰思なし
その空に 虹たちぬ 二つ環の
虹山低かりき 面ふせひれふして
姿よき 片しぐれすらしも
今は日ぐれ波 ただひろう八郎瀉